

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒個々の学びを深め進路実現を図る教育課程を編成し、学習意欲と学力を向上させる。</p> <p>②カリキュラム・マネジメントを推進し、教科横断的かつ探究的な学びを通して課題発見・解決できるグローバルリーダーを育成する。</p> <p>③特別活動等を通して主体性、社会性、協働性、創造力等の育成を図る。</p>	<p>①履修指導を通して、生徒の学習意欲と進路実現するための学力を育成する。</p> <p>②多様な価値観を受容し、社会に存在する諸課題に対峙して批判的に思考する力の育成を図る。</p> <p>③学校行事等を通して、主体性や協働性を高め、問題解決に向かう力を育成する。</p>	<p>①本校の授業の魅力を整理・発信し、生徒の関心や進路との関連を重視した履修指導を充実させる。</p> <p>②講演や各行事により諸課題に向かう意識の涵養を図る。各教科における探究的活動に係る授業研究を推進する。</p> <p>③学校行事の活性化を図るため、事前学習の充実や生徒との意見交換の場の創出に取り組む。</p>	<p>①効果的な履修指導により学習意欲や学力は向上したか。(履修登録者数や履修単位数の推移)</p> <p>②批判的・論理的に思考しようとする生徒の意識を醸成することができたか。(講演の振り返り、生徒による授業評価)</p> <p>③学校行事等において、主体的に取り組み、社会性や協働性を高めることができたか。(アンケート)</p>					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒指導・支援の組織的取組を推進し、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。</p> <p>②部活動や課外活動を支援し、責任感や連帯感の涵養を図る。</p>	<p>①学校安全を確保した安心・安全な学習環境の中で、生徒が自らの身心の健康を管理し、意欲的に学校生活を送れるよう、生徒支援の体制の充実を図る。</p> <p>②部活動を通して、責任感や連帯感の涵養を促し、生徒の主体的な活動を充実させる。</p>	<p>①危機管理マニュアルを整備し 組織的な危機管理体制を構築する。生徒の日常生活における変化の速やかな情報共有を行い、未然防止の観点に重点を置いた組織的な生徒指導・教育相談体制を実施する。外部支援との連絡調整を密に行い依頼すべきことを適切に判断する。</p> <p>②部活動の活性化を図るため、部活動説明会や部活動表彰等を行う。</p>	<p>①危機管理マニュアルに定める事項を十分に職員に周知できたか。生徒支援について、学校内における対応や外部支援への対応について、組織的な対応とその成果・改善点を次年度へ適切に引き継ぐことができたか。(担当者による評価)</p> <p>②目標に対し計画性を持って活動し、外部との連携を図ることができたか。(アンケート)</p>					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<p>①様々な教育活動をおとして、生徒が主体的に進路目標を定め実現していく力を育成する。</p> <p>②キャリア発達課題を意識した進路指導の充実を図る。</p>	<p>①進路行事を通して、生徒の目的意識、責任感を養う。生徒一人ひとりのニーズに合った進路情報の提供を行う。</p> <p>②全職員が生徒の主体的な進路実現のために様々な場で適切なアドバイスができるよう情報共有を行うとともに、職員の進路への意識を高める。</p>	<p>①進路行事の目的と意義を生徒に周知し、自分自身で進路を決定するという意識を高める。学校外の活動の情報提供を充実させ生徒の参加を促し、責任感を養う機会とする。</p> <p>②全職員に対し teams の機能を活用して生徒の進路目標、進路指導に資する種々の情報提供を行う。教員向けセミナー等の情報提供も行い、意識を高める。</p>	<p>①進路説明会や模試の実施に際し、目的の共有ができたか。生徒への情報提供について、内容や頻度は適切だったか。参加人数は変化したか。</p> <p>②職員の進路指導に対する意識は向上したか。進路冊子や各種情報誌の閲覧頻度、セミナー等への参加者は増えたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>①地域資源を活用した教育活動を行い、未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する。</p> <p>②家庭、地域社会等との連携・協働により、持続可能な社会の創造を図る。</p>	<p>①授業やグローバル教育に係る行事等で外部資源を活用し、社会に存在する諸課題について多角的に捉え批判的に思考する力の育成を図る。</p> <p>②清掃活動や防災活動を行い個々の生徒が地域社会への貢献する意義を学ぶ。</p>	<p>①外部講師を招聘し国際関係に係る講演や行事を実施する。他校生徒と交流・議論する行事やパートナー校交流をコロナ禍以前の規模で実施する。</p> <p>②生徒同士や地域の人々と協力をしながら防災等の活動を通し理解と協力の学びの場を設ける</p>	<p>①批判的・論理的に思考しようとする生徒の意識を醸成することができたか。(講演・行事の振り返り)</p> <p>②学校と地域の協力体制が築かれることができたか、地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現できたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①社会の変化に対応し、柔軟かつ迅速に教育課題に取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。</p> <p>②教育計画とのバランスを図り、教員の働き方改革を進める。</p>	<p>①保護者及び地域と連携を行い生徒等に安心した教育環境の活性化を行う。ホームページ、各種説明会等の内容を充実させ、家庭および地域社会に対する広報力を高める。</p> <p>②業務の方法の見直しや分担をすすめ、より一層の効率化を図る。各学習教室等を含め教育環境の向上を行いより良い職場環境を提案する</p>	<p>①ホームページ更新の頻度を挙げ、掲載情報も充実させるほか、学校説明会等で提供する情報の最適化に努める。</p> <p>②行事等を精査し開催方法等について最善策及び必要性について検討をする。業務の負担を担当表などで見える化し、業務の均等な分担に努める。teams を利用し連絡体制を効率化するほか、日頃からデータの整理や物品の管理を呼びかける。</p>	<p>①各活動を活性化させ社会に開かれた教育活動が実施できたか。(担当各所による評価) ホームページの更新は定期的に行われていたか。広報活動での情報提供の方法と内容は適切だったかを各種説明会後のアンケートで検証する。</p> <p>②職員の勤務状況は改善したか。データの整理や物品管理は適切に行われていたか。</p>					